

Pix Tune Editor 操作ガイド(PC/Mac Version)

オーバービュー

Pix Tune EditorはWST-915Li PixTuneの起動画面と6つのチューニングディスプレイをカスタマイズするための専用アプリケーションです。

画像のアップロードや調整、プレビュー機能を搭載しています。

対応OS: Mac OS10.14以降、Windows10以降

ソフトウェアのインストール

Pix Tune EditorはMac OSとWindowsの両方に対応しています。ホームページからご利用の環境に合ったインストーラーをダウンロードし、指示に従ってインストールを行なってください。

注意: 他の補助ソフトウェアが必要な場合は、必ず指示に従ってダウンロードおよびインストールを行なってください。Windowsの場合は、インストール後に、システムの再起動が必要になる場合があります。

ソフトウェアの使用法

起動画面(Boot Animation)

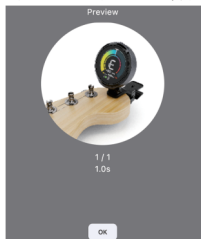
1. 起動画面にアップロードしたい画像を、あらかじめPC/Mac内に用意してください。JPG/PNG/GIFファイルに対応しています。
2. Pix Tune Editorソフトウェアを起動し、左メニューの"Boot Animation"セクションを選択します。"Add Image"ボタンをクリックするか、画像を直接ソフトウェアにドラッグ&ドロップしてください。



3. 必要に応じて画像を調整してください。



4. 各画像のパラメーター設定が完了したら"Preview"ボタンをクリックし、アニメーションが希望通りになっているかを確認してください。

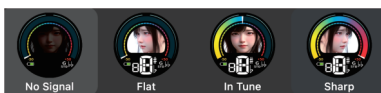


チューニング画面の編集

1. チューニング画面にアップロードしたい画像を、あらかじめPC/Mac内に用意してください。JPG/PNGファイルに対応しています。
2. Pix Tune Editorソフトウェアを起動し、左メニューの“Display”セクションを選択します。“Add Image”ボタンをクリックするか、画像を直接ソフトウェアにドラッグ&ドロップしてください。



Display 5/6/7/8：4つのステータスそれぞれに任意の画像を配置できます。



Display 15：フローティングする背景の画像を配置します。

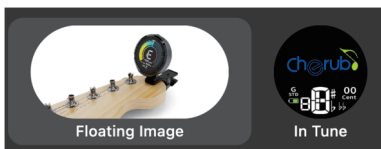
フラット時：画像は左に移動します。

シャープ時：画像は右に移動します。

チューニングがあった時：画像は中央で停止します。(チューナー画面に“BINGO”と表示されます。)



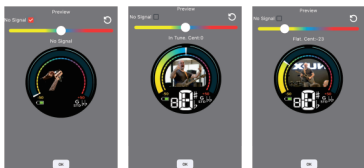
Display 16：フローティングする背景画像と、チューニングがあった時の画像を個別に設定できます。



3. 必要に応じて画像を調整してください。



4. 各画像のパラメーター設定が完了したら"Preview"ボタンをクリックし、アニメーションが希望通りになっているかを確認してください。



設定をチューナー本体に保存する

1. 設定が完了したら、付属しているUSBケーブルを使用して、WST-915Li PixTuneをPC/Macと接続します。

注意：接続を行う際は、PixTune本体の電源がOFFになっていることを確認してください。正常に接続されると、本体画面に充電中マークが表示されます。



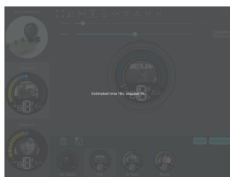
2. "Save to Device"をクリックし、どのディスプレイに画像をアップロードするかを選択します。ここで画像をデフォルトに戻すことも可能です。



"Save"をクリックし、アップロードが完了するまで待ちます。



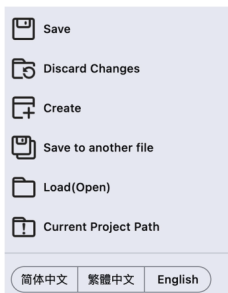
数秒経つと、設定がPixTuneチューナー本体にアップロードされます。



追加設定

右上のアイコンをクリックすると、現在のカスタム設定をファイルとしてPC/Mac内に保存しておくことができます。このファイルは後で呼び出すことも可能です。

また、言語の切り替えも可能です。(英語/簡体中文/繁体中文)



デバイスのリセット

リセット

システムがクラッシュした場合は、付属のリセットツールを背面の小さい穴に差し込み、本体をリセットしてください。



工場出荷時設定へのリセット

画像をアップロードした後にシステムがクラッシュした場合は、まずRESETボタンを押し、その後“電源ボタン”、“-”、“+”ボタンを同時に長押しして、ユニットを工場出荷時の設定にリセットしてください。